

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-502504 (P2005-502504A)

【公表日】平成 17 年 1 月 27 日 (2005.1.27)

【年通号数】公開・登録公報 2005-004

【出願番号】特願 2003-527004 (P2003-527004)

【国際特許分類】

B 3 2 B 9/00 (2006.01)

C 0 1 B 33/14 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 9/00 A

C 0 1 B 33/14

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 29 日 (2005.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 複数の無機ナノ粒子を潜在カップリング剤と接触させて、潜在反応性ナノ粒子を形成する工程と、

b) 前記潜在反応性ナノ粒子をバインダー前駆体と密接に混合する工程と、

c) 前記バインダー前駆体を硬化して、潜在反応性ナノ粒子を含む暴露された第 1 の表面を有するナノ複合材を形成する工程と、

d) 前記ナノ複合材の第 1 の表面において、複数の潜在反応性ナノ粒子を脱保護して反応性ナノ粒子を形成する工程と、

e) 前記ナノ複合材の前記第 1 の表面に存在する複数の前記反応性ナノ粒子にフッ素化有機基が共有結合されるように、反応性フルオロケミカルを前記ナノ複合材の前記第 1 の表面と接触させる工程と

を含む、耐汚染性および耐磨耗性物品の製造方法。

【請求項 2】

第 1 の基材の第 1 の主表面上に前記バインダー前駆体を被覆する工程をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の方法により製造された、耐汚染性および耐磨耗性物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 9 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 9 0】

二重剥離ライナーを有する 0.13 mm 厚のアクリル転移 P S A フィルム (商品名 3 M 9 4 8 3 オプティカリー クリアー ラミネーティング アドヘシブ (3 M 9 4 8 3 O p t i c a l l y C l e a r L a m i n a t i n g A d h e s i v e) を有し、ミネソタ州、セントポール (S t . P a u l , M N) の 3 M カンパニー (3 M

C o m p a n y) から入手可能) から 1 つの剥離ライナーを除去し、ラミネーティングゴムローラーを使用して、実施例 3 3 の P E T ポリマーフィルムの、被覆されていない表面 (すなわち、第 2 の主表面) に適用した。